

【医療情報】新型コロナウイルス関連情報（4月15日現在）

【ポイント】

- 報道によれば、アルゼンチン国内では2571名（昨日から128名増）の累計感染者数、うち112名の累計死亡者数、596名の累計治癒数が報告されています。
- 当国に居住、または短期的に滞在している方を対象とした、強制隔離措置DNU（355/2020）が4月26日まで継続中。同時に、非居住者の方々の入国の禁止も同日まで継続中です。
- 地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために、首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに申請を行う必要がありますので、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班までお知らせください。

【本文】

- 1 報道によれば、アルゼンチン国内では2571名（昨日から128名増）の累計感染者数、うち112名の累計死亡者数、596名の累計治癒数が報告されています。
- 2 ブエノスアイレス州での鼻、口等を覆う防護品着用の義務化予定（報道）
報道によると、ブエノスアイレス州では、外出する際、鼻や口等を覆う防護品の着用が今月20日（月）から義務化される予定とのことです。政令は近く公布される見込みで、公共交通機関の利用、自家用車に2人以上同乗している場合に適用される他、街中（街路）に買い物や銀行等の用事で留まる際にも必要となります。違反した場合の罰金については検討中ということです。
- 3 ブエノスアイレス市による感染ピーク予想（6月1～2週目）
ブエノスアイレス市政府は、強制隔離と厳しい管理によって同市における感染のピークが当初予想の5月20～23日頃から後ろにずれ、6月1～2週目になりそうだと発表しました。同市保健当局では、医療関係者を含め感染検査の数を増やすよう計画しており、また、同市の入院病床の30%をブエノスアイレス首都圏の感染者に充てる予定とのことです。
- 4 地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項
地方におられる非居住者の方々が、強制隔離期間中にご帰国のために、車両（バスやレミース）で首都へ移動される際には、所在地を出発される最低48時間前までに申請を行う必要がありますので、ご帰国のために移動のご予定のある方は、時間的余裕を持ち、事前に当館領事班 conbsas@bn.mofa.go.jp までお知らせください。細部は「地方に滞在されている皆様が首都へ移動される際の注意事項」をご参照ください。
<https://www.ar.emb-japan.go.jp/files/100043069.pdf> （以上）